

## 令和2年度 西東京市市民協働推進センター事業報告

西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、平成21年の設立から12年。令和2年度から第四期が始まります。今期は「個」の支援や教育機関との協働において強みを持つ西東京ボランティア・市民活動センターと情報共有等を通じた連携のもと、「あつまる」「つながる」「ささえる」を理念に事業展開を実施します。また、引き続き企業との協働などを通じて地域共生社会実現を目指すため、SDGsを意識したセンター運営を継続します。

センターは中間支援組織として、市民活動団体の自立・継続に向けてきめ細やかな情報提供、アドバイス、コーディネーターなどのサポートを強化し、協働を推進していきます。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
広報・PR事業	<p>地域連携の促進やセンターの広報・PRの充実を図るために、市報やSNSを積極的に活用しながら、助成金等「活動者が得たいと思う情報」を広く周知していきます。</p> <p>○センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 ○他団体・組織やイベントでの連携</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 ○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(6・9・12・3月号、各号1000部、12月号のみ1500部発行) ○イベント出店での広報・PR活動 駅前フェスタ2020で展示中止 (主催・場所:保谷駅前公民館) こそだてフェスタ中止 (主催:西東京市、こそだてフェスタ実行委員会) ○団体紹介冊子の発行・配架 ○利用促進品の作成配布(中止)</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携 ○協力団体・企業、施設の確保 ○地域学校協働活動等での活用促進 ○西東京ボランティア・市民活動センターのイベントへの参加</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動 機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行を3か月に一度に変更。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、センターは閉館期間(3月2日～6月7日)がありメール・電話・FAXでの対応だけとなった。このような状況下で、ゆめこらぼの運営状態についてはホームページや登録団体のMLにてリアルタイムで情報を更新・配信し、10月以降はオンラインイベントの開催情報をHPやFBにアップした。 駅前フェスタ2020とこそだてフェスタが中止となり、展示によるゆめこらぼの周知を図る機会がなかった。 団体紹介冊子は西東京市役所全庁(課)に配布。市役所窓口へ来た市民の問い合わせに有効な資料として活用いただいた事例があった。さらに市内の主な公共施設についても市民が自由に持ち帰ることが出来るよう配架を実施した。 利用販促品は例年NPO市民フェスティバルの展示会場において配布していたが、オンライン開催となったため作成配布を中止した。</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携 まちテナ西東京の協力により、アスタビジョンにNPO市民フェスティバルの告知CMを放映することができた。タッチパネル情報ステーションと連携が決まった。 当初計画していた西東京ボランティア・市民活動センター主催のボラフェスが開催中止となり連携ができなかった。一体化に向けて6月より月一回の会議により今後の連携について協議を進めている。株式会社御用聞き発行のVOICE2025西東京市版2月号に西東京市市民協働推進センター長取材記事掲載。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を迅速に集約・発信し、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図ります。</p> <p>○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動の情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ○機関紙「ゆめこらぼ通信」で情報提供(年4回) 団体の活動紹介(8団体) ○情報ステーションとの連携 ○ホームページで団体のイベント情報を発信(440回) ○団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介 ○チラシ「イベント情報」の毎月1日発行(約1000部配布) 新型コロナウイルスの影響により4月から6月の3か月は発行できなかった ○NPO市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1500部発行</p> <p>② 市民活動の情報収集・提供 ○市民活動の支援情報の収集・提供</p> <p>○市民活動の動向の情報収集・提供 日本NPOセンター総会(6/12 Zoom開催) 近隣7市情報連絡会(3/17 Zoom開催)</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ホームページのアクセス数は33,344件、市民活動に対する認知度の向上に寄与することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止で取材等が出来なかったため、団体からの情報提供などの協力により6月号は「自宅で過ごすみんなへのエール」、9月号「新しい生活様式の中での市民活動」をテーマとし発行。コロナ禍にあつての市民活動の工夫などを発信した。 まちテナの&lt;タッチパネル情報ステーション&gt;との連携が決まった。</p> <p>② 市民活動の情報・提供 助成金情報等をホームページに掲載(110件) 新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けている市民活動に対して、様々な緊急プロジェクト(助成金・クラウドファンディング等)が立ち上がり、その情報をMLやHPで情報提供に努めた。 公益財団法人オリックス財団の「“子ども食堂”応援プロジェクト令和2年度助成」情報を流したところ、市内で活動している子ども食堂が助成金を受けられることとなった。</p> <p>年2回開催される近隣7市情報連絡会※は新型コロナウイルスの影響により今年度開催が懸念されたが、担当の八王子市が調整しZoomでの開催となり30名の参加があった。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市と西東京市の7市の間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p>
<p>相談事業</p>	<p>多様な主体(市民、NPO等市民活動団体、企業、行政職員、教育機関等)がよりよい形でパートナーとなり協働を推進するため、また、各団体が自立的でかつ継続的に活動ができるよう、市民活動を支えるセンターとしての役割を担います。</p> <p>○通常相談業務 ○出前相談業務 ○その他の相談事業</p>	<p>① 通常相談業務 相談件数86件</p> <p>② 出前相談業務 ボラフェス中止 保谷駅前フェスタ中止 こそだてフェスタ中止 NPO市民フェスティバル(1/23・24オンラインで開催) 合計相談件数0件</p> <p>③ その他の相談業務 西東京ボランティア・市民活動センターとの連携(6/24、7/21、8/25、10/1、12/1、12/25、1/18、2/19)</p>	<p>① 通常相談業務 センター閉館期間中(3月2日～6月7日)は電話やメールでの相談対応を行った。少ない相談件数の中でも行政からの相談は増加傾向にある。下半期は市民から支援に関する相談があり生活サポートへつなぐことが度々あった。</p> <p>② 出前相談業務 新型コロナウイルス感染拡大予防のため予定していた出前相談のイベントは中止となった。</p> <p>③ その他の相談業務 6月からボラセンとの一体化会議を開始した。両センターの機能の充実・強化を図り、西東京市の市民活動をより一層支援し、市民サービスの向上が図れると考え両センターを一体的に運営することを提案していく。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識を習得する研修を行い、第四期が終了する時には誰も取り残さない「皆で支え合う地域共生社会」実現のために西東京ボランティア・市民活動センターとも連携を図り、NPO等市民活動団体が自立して活動できるよう図ります。</p> <p>○地域活動紹介しみ活の開催(年1回) ○パワーアップセミナーの開催(年1回) ○サロンDEこらぼの開催(通年)</p> <p>人材、団体育成・研修事業 【重点事業】</p>		<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 ○第1回「あなたに出来ること×楽しいこと」を開催(11/28(参加者11名、話題提供者3団体、ファシリテーター2名)) オンライン整備支援：合同会社Active Learners</p> <p>② NPOパワーアップセミナー ○NPOパワーアップセミナー「もっと知ろうよSDGs Part2～初めての方でも大丈夫～」(10/17(25名)) オンライン整備支援：合同会社Active Learners ○NPOパワーアップセミナー「あなたの団体活動へ、やさしいオンラインのはじめかた！」(11/14(14名))</p> <p>③ サロンDEこらぼ(今年度新規事業) ○サロンスペースの有効活用</p>	<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 「あなたに出来ること×楽しいこと～これから活動を始めたいあなたに!～」をオンラインで開催。参加者は3つのグループに分かれて、西東京市シルバー人材センター、西東京市社会福祉協議会、ゆめこらぼからの活動について説明を聞き、質疑応答を行った。西東京市シルバー人材センターからはあまり知られていない事業活動の紹介やゆめこらぼ登録団体の活動状況などコロナ禍においても多様な方法で実施している活動があることを周知でき、参加者にとっても参考になる講座であった。参加者と話題提供者に対し事前接続確認を丁寧に行ったことにより、当日スムーズに開催することが出来た。</p> <p>② NPOパワーアップ講座 SDGsは昨年度基礎を学び第2弾をオンラインで講座を開催した。井澤友郭氏を講師にSDGsの17のゴールがそれぞれに影響し合っているという点を着眼点に理解を深めた(一斉事前接続確認を10/12、他対応5件実施)。 登録団体であるIT研究会を講師にZoomの使い方、その他オンラインツールの紹介など実務を含む講座を開催。講座の結果、自身にオンラインを取り入れたいとの意見があり目的を達成できた事業となった。(一斉事前接続確認を11/5、他個別対応4件実施) ゆめこらぼとして、初めてのオンライン講座開催のため、事前準備に時間をかけた。参加者も初めてZoomを利用する方が多く、インターネット環境など様々な状況への対応を一人ひとりに実施した結果スムーズな講座の開催となった。</p> <p>③ サロンDEこらぼ ゆめこらぼの閉館期間中にサロンスペースにある書籍や資料を整理し、市民活動団体の情報が分かりやすく、手に取りやすいようなレイアウトに変更。都内の近隣自治体の情報(チラシなど)はファイルに分け、サロン来訪者にとって情報が分かりやすく提供できるよう工夫した。市より感染防止用にパーテーションが4枚支給されたので有効に活用している。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>地域連携促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○団体交流会</li> <li>○協働のまちづくりワークショップ</li> <li>○NPO市民フェスティバル</li> <li>○まちづくり円卓会議</li> </ul>		<p>① 交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○団体の交流会を開催(2/27(12団体・12名))</li> <li>オンライン整備支援：合同会社Active Learners</li> </ul> <p>② 協働のまちづくりワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協働のまちづくりワークショップ中止</li> </ul> <p>① NPO市民フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実行委員会を開催(全9回) 臨時実行委員会含む(7/7、7/22、8/20、9/24、10/29、11/26、12/24、1/14、2/4)</li> <li>○参加団体説明会を開催(10/10(参加37団体))</li> <li>○第11回NPO市民フェスティバル開催(1/23、24(展示31団体、3分動画29団体、YouTubeライブ5団体))</li> <li>○オンライン訪問者数：1,215名</li> <li>動画総再生回数：2,919回</li> <li>○オンライン整備支援：合同会社Active Learners</li> </ul> <p>③ まちづくり円卓会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ「みんないろいろ～LGBTQから話し合おう～」まちづくり円卓会議開催(3/27)</li> <li>円卓会議メンバー：6名、参観者：10名、ファシリテーター：2名、グラフィッカー：2名)</li> </ul>	<p>① 交流事業</p> <p>Zoomを利用した交流会の開催。NPO市民フェスティバルの報告後、ブレイクアウトルームを利用し、昨年の活動状況や工夫したことなどの情報交換を行った。アンケートでは楽しかった、継続開催を望むなど参加者にとって満足度の高い結果がでており、有意義な交流の場となった。団体もZoomを含むオンラインの活用に慣れてきたことを実感した。</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演とワークショップが中心の講座であることから中止とした。</p> <p>① NPO市民フェスティバル</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため例年では6月から実行委員会を立ち上げていたが、広報ができず、今年度は7月から実行委員会を開始。実行委員会は全てZoomを利用し、参加団体募集説明会もZoomで開催した。令和3年1月23日・24日「第12回NPO市民フェスティバル」の開催を決定。“ゆめこらぼ Presents!～新型コロナに負けるな！市民活動～”をテーマに新しい生活様式を踏まえオンラインを導入。フレスポひばりが丘にて展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。急遽ホームページの中に展示会場を設けた。例年ではステージ発表をしていたが、密を避けるため、参加団体の3分動画で団体の活動紹介をすることとし、展示と3分動画を3月末日までホームページの特設会場で閲覧できるようにした。また、Zoomを利用し、23日に2団体、24日に3団体、開会式などをYouTubeで生配信した。初めての試みであったが、合同会社Active Learnersのオンライン整備支援によりスムーズに開催することができた。</p> <p>③ まちづくり円卓会議</p> <p>多様性を尊重する社会の実現に向けて公開会議を行った。違う立場からの情報提供の共有により、現状を広く把握し、自分にできそうなこと、したいことに気づくことができた。円卓会議を積み重ねていくことで人々の偏見が減り、社会の多様化を後押しする大切な事業であることの再確認となった。リアル開催のため新型コロナウイルス感染拡大予防を考慮し参観者を10名までとした。ファシリテーターに合同会社Active Learnersを起用し、その場の状況を鑑みて進行、グラフィッカーへの評価も高かった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
地域連携促進事業	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○地域コミュニティ施策への協力 ○教育現場とNPO等市民活動等との連携</p>	<p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 ○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/20、7/14、9/15、11/16、1/12、3/15)</p> <p>○にしにしnet(西部地域協力ネットワーク)の総会、定例会に参加(5/10)</p> <p>○ふらわーネット(中部地域協力ネットワーク)の設立総会に参加(書面評決)</p> <p>○北東部地域協力ネットワークのモデル会議に参加(12/21)</p> <p>○地域情報発信ラジオ番組(第1回放送3/20)</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加 ○社会教育委員会(全8回) (6/22、7/31、8/28、9/25、10/23、11/27、12/25、3/26)</p>	<p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、総会や定例会を開催することが難しい状況が続いたが、南部地域協力ネットワークは地域を分散して定例会を実施し、にしにしnet.はMLを駆使して情報共有を図っている。設立総会を開催した中部地域協力ネットワークふらわーネットは、事業計画や予算承認のため、総会を文書で開催した。ゆめこらぼが各地域協力ネットワークに声がけし、地域協力ネットワーク間の相互情報交換の場を設け、合同で事業を推進するための会合を開催。ゆめこらぼが発案し、FM西東京と各圏域ネットワークとで地域の方が地域の方へ「声」を届ける地域コミュニティラジオ番組「こみゅラジ〜今日どう?」を立ち上げた。パーソナリティにゆめこらぼのセンター長、3月第3土曜の30分番組の第1回を放送した。</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の定期総会は書面による決議とし、開催は8回に留まる。「地域学校協働活動のあるべき姿」を策定し、6月に中間提言をまとめ、10月に最終提言を市へ提出。地域学校協働活動の推進に向けた学校施設のあり方(活用)について意見をまとめている。</p>
施設の提供及びその他事業	<p>市民活動を支えるために、利用しやすいサロンスペースや機材の提供を行います。西東京市の市制20周年に際し、状況に応じて協力します。</p> <p>○サロンスペースの提供 ○機材の提供 ○登録団体に対し、メールボックスの提供 ○その他の事業</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供 ○サロンスペースの提供 (来訪団体数：728団体、来訪者数：1,274名、サロンスペース：365名) ○機材の提供 164件 (コピー機：8件、印刷機：79件、紙折り機・裁断機：29件、ラミネーター：38件、AV機材：10件) ○登録団体に対し、メールボックスの提供(110個)</p> <p>○市制20周年事業への協力</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供 サロンスペース、プロジェクター等機材及びラミネーターの利用者数は激減。施設の提供も含め、機材やメールボックスの提供があることの周知を継続していく。新型コロナウイルスの影響により閉館期間があった為、昨年との比較は出来ない。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
運営及び維持管理	<p>市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 第三者評価の実施</p> <p>○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理</p>	<p>① 運営委員会の開催 (4/21(12名)、6/16(12名)、7/21(12名)、10/20(13名)、12/15(7名)、1/19(10名)、3/16(13名))</p> <p>② 研修会への参加 (6/12、7/15、7/22、8/4、8/17、8/31、9/7、9/15、10/24、11/13、12/12、3/6、3/13、3/20)</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) ○設備・機材の維持管理</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 ○第四期の第三者評価の進め方</p>	<p>① 運営委員会の開催 前半3回は新型コロナウイルス感染拡大予防の為文書送付による開催。後半4回はZoomによる開催となった。コロナ禍における事業報告については記録を残すなどの助言があった。</p> <p>② 研修会への参加 事業の企画や団体の支援に活かすための情報を得る目的で講座や勉強会に参加。今年度は全てZoomを利用しての参加となったが、自宅からの参加が認められないため、社会情勢に沿った対応が必要。</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) 職員の資質向上及び、事業のサービス向上を目指し、利用しやすいセンターの提供をしていく。</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 5年に1度の第三者評価の実施は開催年に費用がかかり、事業費がひっ迫してしまうため、今年度より仕様書を見直し、実施方法を市と話し合いを進めている。</p>